
草尾島生活記

市徳泰行

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

草尾島生活記

【Nコード】

N0090Y

【作者名】

市徳泰行

【あらすじ】

主人公・山内創はまめは伯父からの要望で太平洋側に位置する草尾島くまおじまに親友・平野恵佑けいすけと共に移住することになる。
移住先・草尾島でいったいどんな事が起こるのか・・・？

プロローグ・いざ草尾（前書き）

（注意）

この小説をご観閲頂くにあたって、注意させていただきたい事があります。

1・製作主の不手際により誤字脱字、不適切な表現などがある場合がございます。

（致命的なもの以外は大目に見て頂くようお願いします。

2・感想・レビューにはアドバイスや指摘、要望などを頂くと今後の展開を考えるのにとても助かります。（ただしアドバイスや指摘として受け止められない過激な内容や誹謗中傷はおやめください。）

3・話と話の間が都合上遅くなってしまう場合があります。そういう場合であれば、あとがきに今後の計画を載せていきます。

プロローグ・いざ草尾

「・・・遅いッ！」

何時いつになつたら着くのかよ・・・。

もう30時間位の船旅でクタクタだよ・・・。

しかしこんな事になったのも・・・

(一ヶ月前)

「は？もつかい言つてよ、訳分かんないんだけど。」

「だからオカン何回も言つとるやろが、千葉の伯父おじさんが移住しな
いかつて言われたつて。」

その時、何でオレが移住なんか・・・と思った。

「第一アンタ仕事に就いてないし、結婚はおるか彼女もできん。最
悪やん！」

「余計なお世話だよ。」

「伯父さんが言うには移住すれば仕事も豊富にあるし、女性なんか
すぐに見つけられるつて。だから移住しとき！」

「でも・・・。」

「お金！？お金ならオカンが何とかする！ 友達！？友達ならさっ
き電話して一緒に付いて行く奴もおつたで！ 荷物は後で送る！
これで文句ないやろ！？」

オレは言葉を返せなかった。

そして移住する事になったわけで・・・
その話の後、移住先をネットで調べてみたんだけど、結構前に日本が太平洋側の領海で発見した草尾島っていう島で、その後第一次移民団が移住したらしい。そしてオレ達が第二次移民団として移住するみたいだ。

うぶっ、気分が悪くなってきた・・・やべえ・・・。

「どうした山内？気分でも悪くなったか？」

オレの親友の平野が話しかけてきた。

「ああ・・・ここんどこ悪天候で揺れてばっかだったから。」

「まあしゃーないな、しばらくの辛抱だ。まあ移住したら幸せに暮らそうぜ。」

「ああ。」

それからしばらくして、水平線に何か陸地の様な物が見えた。あれが草尾島だそうだ。

「あっ！あれだっ！ おいつ！平野、起きろ！草尾島が見えたぞ！」

「えっ、マジ！ あ！本当だ！」

「やった！やっ到着いた！」

こうしてオレの草尾移住生活が始まった・・・。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0090y/>

草尾島生活記

2011年10月29日02時13分発行